

KENPO
DAYORI

健保だより

西武健保ホームページからもご覧になれます。http://www.seibu-kenpo.or.jp

No.1006

2015.4.13

西武健康保険組合



2015年度 西武健康保険組合 予算・事業計画のお知らせ

2月12日、西武健康保険組合の「組合会」が開催され、2015年度の予算・事業計画が承認されました。4月17日（金）発行の『すまいるらいふ春号』でも、その概要についてお知らせする予定ですが、『健保だより』では一足先に皆さまに内容をご紹介します。

保険料率は現行を維持

～ しかし、依然として厳しい状況は続く ～

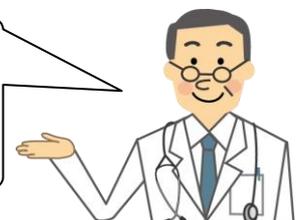
現在、健保組合を取り巻く状況は大変厳しく、健康保険組合連合会（「けんぽれん」）の最新の報告によると、健保組合全体の65%にのぼる927組合が経常赤字で、2008年度の高齢者医療制度（高齢者の医療を支えるために、健保組合が国に納付金を納めることを義務付けられた制度）創設以来6年連続の赤字となりました。一昨年の2012年度に保険料率の引き上げを行った健保組合が約40%、そのうち2013年度にも保険料率を引き上げた健保組合が半数近くあるにもかかわらず、このような結果となってしまったのは、納付金が保険料収入の増加だけではまかないきれないほど多額だったからです。納付金の保険料収入に対する割合は、今や健保組合平均で約45%となっております。

西武健保におきましても、2年連続で保険料率の改定を行い、保険料率を9.1%まで上げさせていただきましたが、今年度決算見込みでも保険料収入に対する納付金の割合は45%以上あり、依然として苦しい状況が続いています。そこで、当初の計画では、2015年度も引き続き保険料率を引き上げる予定でございましたが、特殊要因として、納付金の清算の戻り分によって支出が大幅に抑えられ、昨年とくらべて単年度収支が好転する見通しとなったため、皆さまの負担軽減などを考慮し、2015年度の保険料率は現行の9.1%のままいたします。



健保財政健全化に向けて…

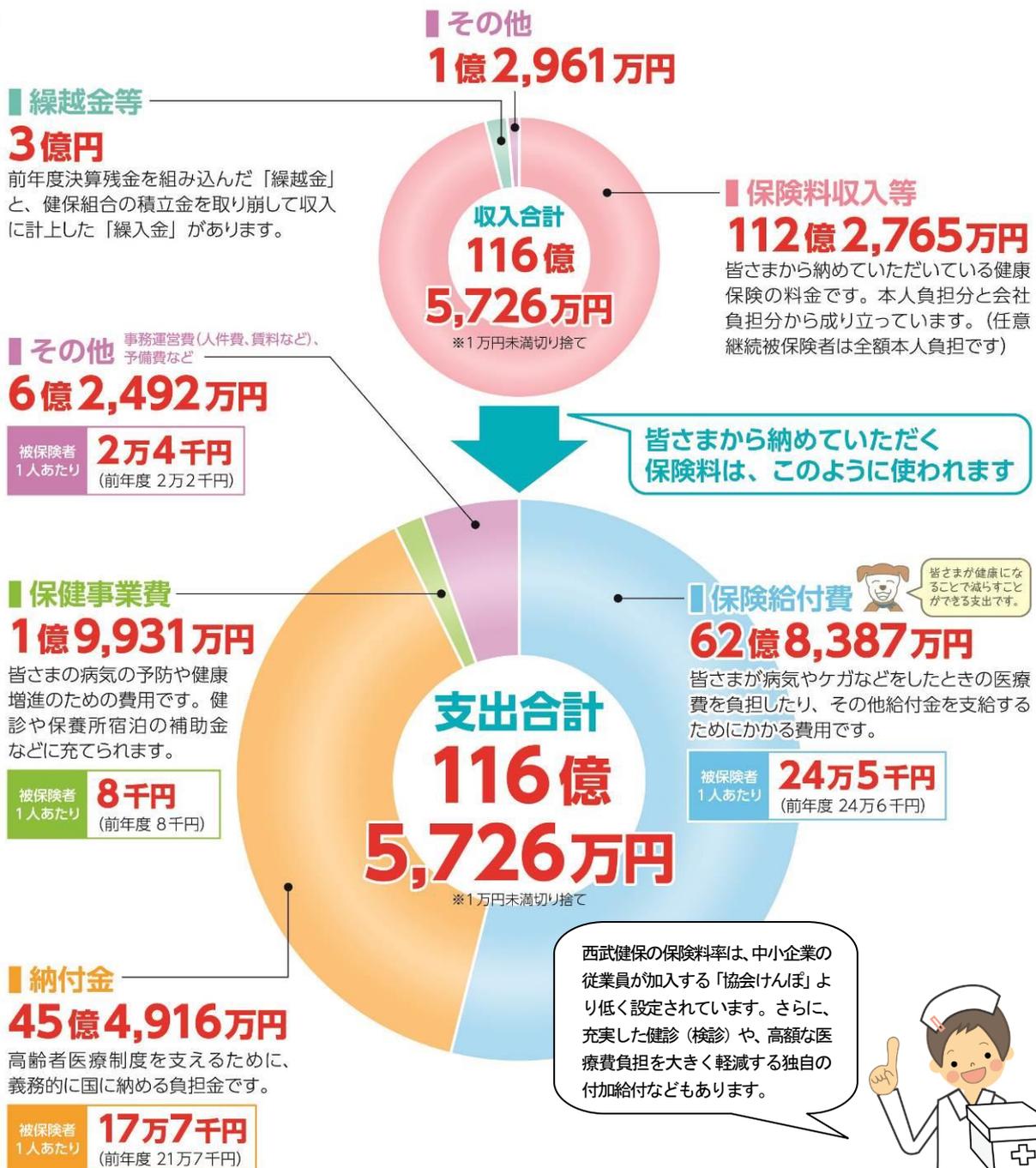
西武健保では、今年度から始まる「データヘルス計画」を有効的に活用し、疾病予防や医療費の削減はもちろん、皆さま一人ひとりの健康増進を進めてまいります。



『組合員の健康を守ることで、
西武グループひいては社会に貢献する』

西武健保では、このことを念頭に、今後も皆さまと一緒に健康組合の運営を進めてまいります。皆さまにおかれましても、西武健保の各種健康プログラムを積極的に活用し、健康づくりにお役立ていただくとともに、引き続き、医療費の節減にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

健康保険の概要



介護保険の概要

介護保険の運営主体は「市区町村」です。健保組合では、国から通知される金額を介護納付金として納めるために、市区町村に代わって40歳以上65歳未満の被保険者から介護保険料を徴収し、納付しています。

介護保険料率については、2015年度から15.2/1000に改定し、本人と会社で折半で負担します。

収入	
介護保険料収入	12億3,954万円
繰越金	3,000万円
雑収入	4万円
合計	12億6,958万円

支出	
介護納付金	12億5,906万円
還付金	67万円
積立金	985万円
合計	12億6,958万円

2015年度 新規事業

特定保健指導の実施機関を拡充します

新たに大手フィットネスクラブと契約し、利用施設の拡充と利用者の利便性を図ります。

保養所が増えます

「PICA富士吉田」「PICA富士西湖」「PICA山中湖ヴィレッジ」「キャンピカ富士ぐりんぱ」「キャンピカ明野ふれあいの里」「パディントン ベア・キャンプグラウンド」「表富士グリーンキャンプ場」「初島アイランドリゾート」が新たに契約保養所に加わりました。

「巡回主婦健診」の検査項目が増えます

腎臓のはたらきを調べる『eGFR』検査を追加します。これは、どれくらい腎臓が老廃物を尿へ排泄する能力があるか測るもので、慢性腎臓病の予防を目的としています。

乳がん検査が選択制になります

「乳がん検診」と「巡回主婦健診」の“乳がん検査”を選択制にすることで、受診者の利便性を図りました。



詳細は4月17日（金）発行の『すまいるらいふ春号』をご覧ください。

皆さまのそばにいつもいます
西武健康保険組合